

# 2年生学年だより

令和5(2023)年11月27日  
第31号  
吹田市立第二中学校 第2学年



新しい二中は、誰かの仕事でできている。



## 校内職種体験が始まる！！

2学期に取り組む大きなものとして『校内職種体験』があります。すでに職種希望のアンケートを取り終えて、いよいよ今週から取り組みがスタートします。まずは、企業様に來校していただき、オリエンテーションという形でそれぞれに与えられた課題の説明をしてもらいます。どのような内容なのかしっかりと把握して、解決に向けて頑張っていこう！！課題解決というと、各教科の授業でもいろいろな経験をしているのではないのでしょうか？ぜひ、授業で培った力を発揮して、よりよい課題解決に向けてアイデアを出していきましょう！

### <<各企業様からの課題一覧>>

**営業 (ハウジングアドバイザーとしてご提案)**  
住宅営業は、家づくりのプロデューサーとして、お客様の想いを1つ1つカタチにし、お客様の暮らしのコーディネートする仕事です。

- 展示場接客
- 各種見学会・資金計画
- ご提案・ご契約
- 建築計画
- 建築中フォロー
- お引き渡し
- 入居後サポート

【建築計画】  
間取りや内装の提案  
今回みなさまに職業体験頂く内容です。

**「つな揚げ」シリーズの  
新商品開発**

**課題内容**

『お客様の想像を超える最高の結婚式の提案』  
＜結婚式のプランニング＞  
皆さまは結婚式をつくるプロとなり、  
「衣装(ドレス・タキシード・和装)、コーディネート(装花)、演出、料理」など  
結婚式の提案をしていただきます。  
ワクワクする一日を一緒に創りましょう！  
知識がない皆様だからこそできる独自のな  
ご提案を楽しみにしております！！  
お客様の求める結婚式のテーマは当日発表します！！

**課題の概要について...**

ジャンル コミュニティFM放送局(地域メディア)  
社名 千里ニュータウンFM放送株式会社(FM千里)  
課題 「吹田市立第二中学校」について発信しよう！

FM千里で生徒の皆さんが「吹田市立第二中学校」を紹介するという想定で10分間の番組制作してもらいます。

目的は、吹田市立第二中学校を知らない人にもどのように言葉で伝えるのか、表現することの難しさを学んで頂けたらと思います。

テレビは視覚から情報を得ますがラジオは聴覚です。「とてもいい学校です」では、どのよういのか伝わりませんし、「船橋先生は素敵な先生です」といっても、どのよう素敵なのか言葉で説明することが必要です。

番組制作をすることで、吹田市立第二中学校の良さを知ると共に、FM千里を通じて皆さんの学校を情報発信しませんか。

朝日小学生新聞 朝日新聞 朝日中高生新聞

【課題】  
「2中新聞を作って、みんなに発信だ！」

学校での出来事やトップニュースを取材しよう！記者になりきって記事を書こう！

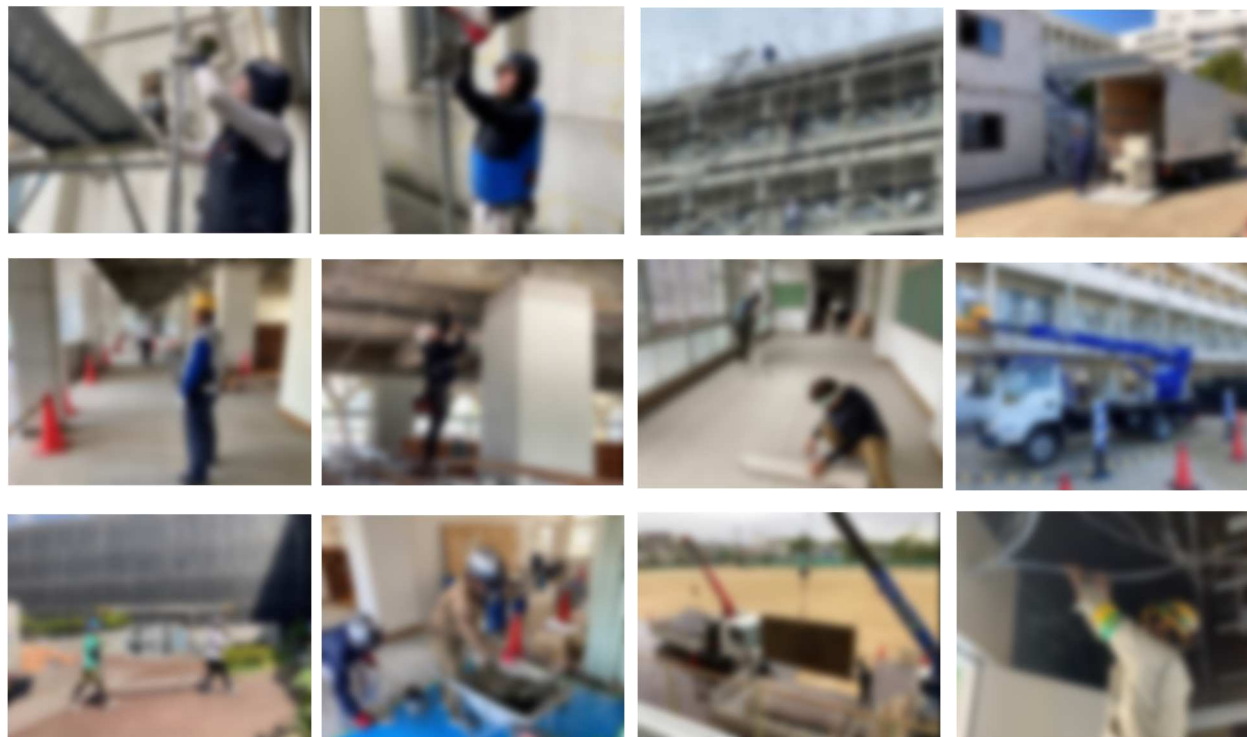
■はなみどスタッフになって「すいたの公園マップ」を作成しよう！

●課題  
幅広い年代の方に興味を持ってもらえるようなマップなどの資料を作成する。

●目的  
吹田市立第二中学校の公園に興味を持ってもらい、もっと利用してもらえるように情報発信を行う。

●手順  
1. 場所を決めよう  
2. マップを作るために必要な情報を集めよう  
公園の犬舎、アクセスなど  
公園の施設や設備 (遊具、ベンチ、トイレなど)  
公園の植物 (樹木、花壇)  
周辺の情報 (お祭り、ランドマーク)  
3. マップにまとめよう！  
・わかりやすい地図  
・手に取ってもらえるデザイン  
・魅力的な情報  
・オリジナルティ

1学期の終盤から始まった大規模な改修工事。教室の黒板がホワイトボードになったり、ロッカーが新しくなったり、校舎の床の張替えや、防火扉の設置など、校舎全体に組まれた足場に囲まれながらさまざまな工事が行われてきました。ただ一言に工事といっても、いったいどれくらいの人に関わっているのか・・・みんな考えたことありますか？工事開始から終了までを追ってみました。足場を組む&解体、電気工事、左官工事、床の張替え作業、壁の塗装作業、警備、グラウンドの鉄板撤去、プレハブの解体、工事資材の引き上げ作業などなど。ここに挙げたものはまだ一部で、みんなが知らないうちにたくさんの人と仕事に関わりあって、今回の工事が進んでいったのです。力仕事というイメージもあり、男性が多かったです。足場作業には女性の方もいたんですよ。左官作業や、壁の塗装作業には海外の方もいらっしゃいましたね。これから、78期生のみんなは、校内職種体験を通して“仕事”を経験します。どのように“仕事”に向き合うべきなのかをぜひ、考えてみてください。もちろん今回の課題には楽しく取り組んでほしいです。できればその中に厳しさ、難しさ、面倒くさいことなども感じられると、仕事をするもののリアルさがわかるのではないのでしょうか。みんながどんなことを学んだのか。2ヶ月後に聞かせてくださいね！



こちらは、現場監督さん。土曜日にも現場に来て、全体の工事の様子を確認されていました。部活動の様子も見てくれていて、中学生が必死に頑張っている姿を見ると涙が出てくるということもおっしゃっていました。グラウンドの鉄板を撤去した後は、グラウンド整備を黙々とやってくれていたんですよ！！

